

- 問1 日明貿易を開始した足利義満は、明の皇帝から「日本国王」という称号を授かり、臣下の礼をとる形で貿易を行いました。この貿易において、明に持参する側の証明札（勘合）に記されていた、義満の立場を示す言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 征夷大將軍
 2. 太政大臣
 3. 日本国王
 4. 執権
- 問2 鎌倉時代から室町時代にかけて、農業技術の向上や肥料の普及により、同じ田畑を利用して一年に二種類の異なる作物を栽培する手法が全国へ広がりました。夏に米を作り、その収穫が終わった後の冬に麦などを栽培する、この農業方式の名称を次の中から選びなさい。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. 輪作
 2. 二毛作
 3. 二期作
 4. 転作
- 問3 15世紀に成立した琉球王国の形成過程とその後の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した
 2. 元の襲来に対抗するため、沖縄島の有力者が九州の御家人と協力して北部に強固な城郭を築いた
 3. 江戸幕府の鎖国政策に従い、中国との交流を完全に断ち切って薩摩藩の直轄地として統治された
 4. 豊臣秀吉による全国統一の一環として実施された検地により、沖縄全土の石高が確定し首里に奉行所が置かれた
- 問4 慈照寺（銀閣）が建立された時期の日本の状況と、その場所が位置する現在の都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、時期については、足利尊氏が幕府を開いた1336年から、織田信長が將軍を追放した1573年までの間を基準とします。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 安土桃山時代・大阪府
 2. 室町時代・京都府
 3. 鎌倉時代・神奈川県
 4. 江戸時代・東京都
- 問5 室町時代、3代將軍の足利義満が明（中国）との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊である「倭寇」と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するために用いられた道具の名称を答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 奉書
 2. 引換状
 3. 勘合
 4. 朱印状
- 問6 鎌倉時代から室町時代にかけて、荘園や公領に配置されて土地の管理や年貢の徴収を行った役職の説明として、正しいものを選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 国司と呼ばれ、朝廷から派遣されて治安維持と裁判を担当しました。
 2. 管領と呼ばれ、將軍の命令を受けて全国の武士を直接指揮しました。
 3. 地頭と呼ばれ、現地で年貢の取り立てや土地の管理を行い、武士による支配を強めました。
 4. 老中と呼ばれ、政務を統轄しながら將軍の警護を行いました。
- 問7 室町幕府が明と行った正式な貿易において、日本からの船が入港する窓口として定められた中国の港都市を次の中から選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 広州
 2. 香港
 3. 重慶
 4. 寧波
- 問8 室町幕府の第3代將軍であり、約60年にわたって続いた朝廷の分裂状態を解消する「南北朝の合一」を成し遂げた人物は誰ですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 足利義政
 2. 足利尊氏
 3. 足利義昭
 4. 足利義満
- 問9 室町時代の農村で行われた自治組織「惣村」の仕組みや活動について、正しい説明はどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. 幕府が農民を5軒一組のグループに編成し、年貢の納入や犯罪の防止について連帯責任を負わせることで村を支配した。
 2. 各地の守護大名が農村に役人を派遣して、農民が勝手に会議を開くことを禁止し、大名の法律のみで村のすべてを管理した。
 3. 商工業者が特権を得るために結成した組織で、幕府に税を納める代わりに、商品の独占的な販売権を認められていた。
 4. 村の有力者や農民たちが「寄り合い」を開き、自ら定めた「村の掟」に従って、用水の管理や防犯などの村独自のルールを運用した。
- 問10 室町時代、3代將軍の足利義満が京都の北山に金閣を建立した時期の文化について、その特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。
 2. 浮世絵や歌舞伎など、都市の町人が文化の主な担い手となっている。
 3. 大名や大商人の富を背景とした、壮大で豪華な桃山文化の先駆けとなった。
 4. 禅宗の影響を強く受け、わび・さびを重んじる質素で気品のある内容である。
- 問11 室町時代に起きた土一揆の際、借金が帳消しになったことを当時の農民たちが石に刻んで残した碑文（徳政碑文）が現代に伝わっています。このような碑文が作られた社会的な背景として、正しい説明はどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 幕府が農民の生活を保護するために、定期的にすべての借金を免除する法律を石碑に刻ませた。
 2. 酒屋や土倉などの高利貸しが、農民からこれ以上襲撃されないように自ら借金の破棄を宣言した。
 3. 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実行行使で通す力を持っていた。
 4. 馬借などの運送業者が、農民の代わりに借金を返済したことを記念して各地に建立した。
- 問12 14世紀の中世日本において、現在の青森県に位置する日本海側の港を拠点とし、アイヌの人々との交易品を畿内へもたらすなど、北東北と中央を結ぶ遠隔地取引で栄えた豪族の活動拠点として正しいものはどれですか。（2021年 愛知県公立入試 類似）
1. 博多
 2. 十三湊
 3. 坊津
 4. 堺
- 問13 15世紀初め、沖縄本島に並立していた北山・中山・南山の三つの勢力を統一して琉球王国を建国した人物と、この国が東アジアの国々を結びつけて行った貿易の名称の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 足利義満 ― 勘合貿易
 2. 尚巴志 ― 中継貿易
 3. 尚巴志 ― 南蛮貿易
 4. 足利義満 ― 中継貿易
- 問14 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 下剋上
 2. 鎖国令
 3. 北虜南倭
 4. 文禄・慶長の役

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本国王	日明貿易は、中国の皇帝が周辺諸国の王に地位を与え、その返礼として朝貢（貢ぎ物）を受け取る「朝貢貿易」の形式をとっていました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として冊封（称号を授かること）されたため、勘合には日本の正統な統治者であることを示す「日本国王」という文字が記されていました。これにより、幕府は莫大な貿易利益を得るとともに、その国際的な地位を高めました。
問2	答え 2 二毛作	鎌倉時代に西日本から始まり、室町時代に全国へ普及したこの手法は、灌漑施設の整備や牛馬の利用、草木灰といった肥料の使用によって可能となりました。同じ土地で一年に二回、同じ作物を栽培する「二期作」とは区別されます。この生産力の向上により、余った農産物を売買する定期市も発展しました。
問3	答え 1 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した	琉球王国は、中山の尚巴志が北山と南山を統一したことで成立しました。統一後は首里城を政治・文化の中心とし、日本、中国、朝鮮、そして東南アジアの品々を売買する中継貿易で大きな富を蓄えました。選択肢にある元寇や太閤検地は、琉球王国の統一とは直接的な関係がありません。
問4	答え 2 室町時代・京都府	慈照寺は、室町幕府の第8代将軍である足利義政が京都の東山に築いた山荘が寺となったものです。この時期は室町時代の中期から後期にあたります。義政は応仁の乱という戦乱のさなかにもありながら、この地で東山文化を育みました。
問5	答え 3 勘合	室町幕府の3代将軍・足利義満は、明の要求に応じて海賊（倭寇）を取り締まることを約束し、明との国交を樹立して貿易を開始しました。この際、正式な貿易船であることを証明するために、明から発行された「勘合」と呼ばれる札を半分に割ったものを持参し、現地の札と照らし合わせる仕組みがとられたことから、この貿易は勘合貿易とも呼ばれます。
問6	答え 3 地頭と呼ばれ、現地で年貢の取り立てや土地の管理を行い、武士による支配を強めました。	荘園や公領で土地の管理や年貢の徴収を行った役職は地頭です。鎌倉幕府によって設置されて以降、室町時代にかけても現地での支配力を強化していきました。
問7	答え 4 寧波	室町時代の足利義満によって始められた日明貿易では、明側が日本船の入港地を寧波（ニンポー）の一か所に限定しました。日本の使節はここで勘合の照合を受けた後、陸路で北京へと向かいました。広州はのちの清の時代に欧州との貿易窓口となった都市であり、混同に注意が必要です。
問8	答え 4 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を築いた将軍です。1392年に南北朝の合一を実現して国内の動乱を終結させたほか、公家と武家の双方の権限を掌握し、将軍の権威を揺るぎないものにしました。京都の北山に建てられた金閣（鹿苑寺）は、彼の強大な権力と当時の北山文化を象徴する建築物です。
問9	答え 4 村の有力者や農民たちが「寄り合い」を開き、自ら定めた「村の掟」に従って、用水の管理や防犯などの村独自のルールを運用した。	惣村は農民が自発的に作った自治組織であることが最大の特徴です。寄り合いでの決定事項や村の掟に基づき、村内の裁判や水利管理、さらには領主への年貢減免交渉（強訴など）を行うこともありました。他の選択肢は、江戸時代の五人組（連帯責任）、大名による中央集権的な統治、あるいは中世の商工業組織（座）の説明であり、農民の自治を示すものではありません。
問10	答え 1 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。	室町時代初期の北山文化は、3代将軍足利義満が朝廷の権威と幕府の力をあわせ持っていた社会背景を反映しています。金閣（鹿苑寺舍利殿）に代表されるように、貴族が好んだ寝殿造と、武士や禅宗に好まれた仏殿建築の様式が組み合わされている点が大きな特徴です。なお、「質素で気品がある」のは東山文化、「壮大で豪華」なのは桃山文化、「町人が担い手」なのは江戸時代の文化の特色です。
問11	答え 3 農民たちが惣という組織を通じて強い団結力を持ち、自らの要求を実力行使で通す力を持っていた。	当時の碑文（大和国柳生街道の徳政碑文など）は、土一揆などの結果として借金がなくなったことを農民自身や地域社会が証明するために残されたものです。これは、惣を中心とした農民の連帯が、幕府や高利貸しに対して要求を通すほどの社会的勢力になっていたことを示しています。
問12	答え 2 十三湊	14世紀の北東北では、安藤氏（安東氏）などの豪族が津軽地方の十三湊を拠点に活動しました。ここではアイヌの人々から得たサケやコンブといった北方産品を、日本海交易を通じて近畿地方などの遠隔地へ運ぶ大規模な商業ネットワークが形成されていました。これは中世における日本の領域を超えた多様な交流を示す重要な史実です。
問13	答え 2 尚巴志 ― 中継貿易	琉球王国は1429年に尚巴志によって統一されました。地理的に日本、中国、東南アジアの間に位置していたため、それぞれの地域の特産品を仕入れて他国へ売る「中継（なかつぎ）貿易」によって繁栄しました。選択肢にある南蛮貿易は戦国時代にヨーロッパ諸国と行われた貿易であり、勘合貿易は足利義満が明との間で行った貿易です。
問14	答え 3 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。

- 問1 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 文禄・慶長の役 2. 鎖国令 3. 下剋上 4. 北虜南倭
- 問2 室町時代、京都や奈良などの都市部では商工業が発達し、金融業を営む勢力が大きな経済力を持つようになりました。幕府に税を納める見返りに、質を取って金を貸し付けるなどの高利貸しを営んでいた者たちの組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 両替商・蔵元 2. 問屋・株仲間 3. 土倉・酒屋 4. 地主・小作人
- 問3 室町時代の社会情勢について述べた次の文のうち、当時の農民による組織的な動きと、その目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 広島県公立入試 類似）
1. 幕府が組織した「五人組」によって、農民たちは年貢の納入を相互に監視し合った。 2. 自治組織である「惣」に結集した農民が、酒屋や土倉を襲って借金のかたを求めた。 3. キリスト教を信仰する農民が、過酷な年貢の取り立てに反対して領主の城を包囲した。 4. 有力な農民たちが「守護」となり、幕府から認められた権限で独自の税を徴収した。
- 問4 13世紀に起こった承久の乱から19世紀の大塩の乱にいたるまでの略年表において、15世紀のヨーロッパでは古代ギリシャやローマの文化を再生しようとする文化運動が興り、ボッティチェリなどの芸術家が活躍しました。この時期の出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. ポルトガルの支援を受けたマゼランの一隊が、史上初めての世界一周を成し遂げた。 2. ルターがローマ教皇による免罪符（贖宥状）の販売を批判し、ドイツで宗教改革を始めた。 3. スペインの援助を受けたコロンブスが、大西洋を横断してアメリカ大陸付近の島に到達した。 4. キリスト教の聖地であるエルサレムを奪還するため、ヨーロッパ諸国の騎士たちが十字軍を結成して遠征を行った。
- 問5 15世紀の琉球王国において制作された「万国津梁の鐘」の銘文には、琉球が「三韓（朝鮮）」の優れた文化を集め、二つの大国の間に位置する「蓬莱島（理想郷）」であると記されています。この銘文の中で、琉球がその中間に位置し、密接に交流していると述べられている二つの国の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
1. アメリカと日本 2. イギリスと朝鮮 3. 中国と日本 4. オランダと中国
- 問6 足利義満が行った外交政策と国内統治に関する記述として、歴史的な事実と一致するものはどれですか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
1. 関所を撤廃して楽市・楽座を導入し、自由な商工業の発展を促した。 2. 元（モンゴル帝国）の侵攻を退けた後、博多に防塁を築いて防衛を強化した。 3. 明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、朝貢の形式をとって貿易を行った。 4. 分国法を制定して守護大名の権限を制限し、幕府の直轄領を全国に拡大した。
- 問7 室町時代の農村において、二毛作の普及や牛馬を利用した農耕の発展により農業生産力が向上したことを背景に、有力な農民を中心に形成された村ごとの自治組織を何といいますか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
1. 惣 2. 五人組 3. 株仲間 4. 座
- 問8 室町時代に活躍した雪舟が、日本の美術史上において高く評価されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 大陸から輸入された高価な顔料を多用し、それまでの日本にはなかった鮮やかな色彩表現を仏教絵画に導入したため。 2. 貴族の生活や物語を題材とする大和絵の伝統を重んじ、墨絵の技法をあえて排除することで日本古来の美意識を守ったため。 3. 中国から伝わった水墨画の技法を基礎としながら、日本の自然環境や風景を写実的に捉える独自の表現を確立したため。 4. 遣唐使に従って渡海し、当時の最新の土木技術や医学の知識とともに、密教に基づいた神秘的な絵画を日本に伝えたため。
- 問9 室町時代に明（中国）へ渡って本格的な技法を学び、墨の濃淡のみで自然の風景などを描き出す独自の画風を大成させた人物は誰ですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 菱川師宣 2. 近松門左衛門 3. 雪舟 4. 葛飾北斎
- 問10 応仁の乱の最中やその後の社会情勢について述べた文として、当時の背景を正しく説明しているものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 足利義政が強力な軍隊を組織して戦乱を鎮圧したため、京都の町は戦火を免れ、伝統的な文化が守られた。 2. 戦乱により幕府や守護の支配力が弱まると、山城国（京都府）などで武士や農民が団結して国一揆を起こし、自治を行った。 3. 幕府がキリスト教を禁止したことに対して、九州地方の農民らが大規模な一揆を起こして城に立てこもった。 4. 鎌倉幕府の倒幕を目指す後醍醐天皇の呼びかけに応じ、各地の守護大名が京都に集まって戦った。
- 問11 室町幕府の三代将軍である足利義満が、有力な守護大名を抑えて幕府の権威を確立した時期に、京都の北山に建立された別荘の名称を答えなさい。この建物は、禅宗の影響を受けた建築様式と、平安時代以来の貴族の住居である寝殿造が融合した三層構造を特徴としています。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 金閣（鹿苑寺舍利殿） 2. 平等院鳳凰堂 3. 唐招提寺金堂 4. 銀閣（慈照寺観音殿）
- 問12 室町時代に明との間で行われた貿易において、貿易船が「勘合」と呼ばれる札を持参した最大の目的は何ですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
1. 貿易による利益を幕府だけでなく、朝廷にも分配することを証明するため。 2. キリスト教徒ではないことを証明し、仏教徒のみが貿易できることを保証するため。 3. 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。 4. 輸出品である刀や銅の数量を、明の税関に正確に報告するため。
- 問13 室町文化における伝統芸能の形成について、観阿弥・世阿弥が果たした役割やその背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 出雲の阿国とともに、庶民の風俗を反映した歌舞伎の原型を創始した。 2. 禅宗の精神を重んじ、簡素な美しさを追求するわび茶の作法を確立した。 3. 武家の住居様式として、畳を敷き詰め明かり障子を用いた書院造を考案した。 4. 幕府の保護を受け、それまでの芸能を芸術性の高い能として完成させた。
- 問14 室町時代に行われた日明貿易において、正式な貿易船であることを証明するために用いられた、縦長の紙に「日本」や「国王」などの文字が記され、中央で二分割された割印付きの証明札を何と呼びますか。（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 勘合（勘合符） 2. 割符 3. 印判状 4. 御朱印状

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。
問2	答え 3 土倉・酒屋	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、質屋のような業務を行う「土倉」や、酒造業を営みながら豊富な資金を貸し付ける「酒屋」といった金融業者が台頭しました。室町幕府は彼らに「倉役」や「酒屋役」という税を課すことで、幕府の重要な財源としました。
問3	答え 2 自治組織である「惣」に結集した農民が、酒屋や土倉を襲って借金の帳消しを求めた。	室町時代の農民は「惣」という自治組織を通じて強く団結していました。彼らは凶作や重税に苦しむと、金融業者である酒屋や土倉を襲撃し、借金の証文を破棄させるなどの実力行使に出ました。これを土一揆と呼び、幕府に徳政令（借金を帳消しにする命令）を出させる要因となりました。「五人組」は江戸時代の制度であり、キリスト教徒による大規模な蜂起は安土桃山時代から江戸時代初期にかけての出来事です。
問4	答え 3 スペインの援助を受けたコロンブスが、大西洋を横断してアメリカ大陸付近の島に到達した。	14世紀から16世紀にかけてのヨーロッパでは、人間中心の文化を求めるルネサンスが展開されました。この時期には科学技術も発展し、ポツティチェリが活躍した15世紀後半には、大航海時代の幕開けとしてコロンブスがスペイン王室の支援を受けて西回りの航路を開拓しました。十字軍はこれより前の11世紀から13世紀の出来事であり、ルターの新教改革やマゼランの世界一周は16世紀の出来事です。
問5	答え 3 中国と日本	琉球王国は地理的に東アジアのほぼ中心に位置しており、その利点を最大限に活用していました。万国津梁の鐘に刻まれた「万国津梁」という言葉には「世界の架け橋」という意味があり、当時の中国（明）や日本、朝鮮、東南アジア諸国を結ぶ中継貿易の拠点として繁栄した歴史的背景を象徴しています。
問6	答え 3 明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、朝貢の形式をとって貿易を行った。	義満は経済的な利益を重視し、明の皇帝に臣下としての礼をとることで「日本国王」として認められました。これにより、幕府が貿易の実権を独占し、莫大な利益を背景に強力な権力を行使することが可能になりました。
問7	答え 1 惣	室町時代には、農業技術の進歩によって農民の自立が進みました。これにより、村の重要な事項を決定するための「寄り合い」を開いたり、独自の「村掟（惣掟）」を定めたりする、惣（惣村）と呼ばれる自治組織が作られました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者組織、「株仲間」は江戸時代の商工業者の組織、「五人組」は江戸時代に農民を統制するために作られた制度です。
問8	答え 3 中国から伝わった水墨画の技法を基礎としながら、日本の自然環境や風景を写実的に捉える独自の表現を確立したため。	雪舟の功績は、単に中国（明）の技法を日本に持ち帰ったことだけではなく、それを日本の風土や景色を表現するための手段として再構築した点にあります。この「日本独自の水墨画」の確立は、後の日本画の発展に決定的な影響を与えました。
問9	答え 3 雪舟	室町時代には禅宗の影響を強く受けた文化が発展しました。雪舟は当時の中国である明に渡って水墨画の技法を学び、帰国後に日本の自然に合わせた独自のスタイルを確立しました。葛飾北斎や菱川師宣は江戸時代の浮世絵師であり、近松門左衛門は人形浄瑠璃の脚本家です。
問10	答え 2 戦乱により幕府や守護の支配力が弱まると、山城国（京都府）などで武士や農民が団結して国一揆を起こし、自治を行った。	長引く応仁の乱で守護大名たちが京都で戦っている間、地方では民衆が自らの地域を守るために団結しました。1485年の山城の国一揆では、武士（地侍）や農民が協力して守護大名の軍勢を追い出し、8年間にわたり自分たちで地域を支配しました。このような動きは、幕府の権威が失墜した室町時代後半の大きな特徴です。
問11	答え 1 金閣（鹿苑寺舍利殿）	足利義満は、南北朝の合一を成し遂げるとともに、日明貿易を独占して幕府の経済基盤を固めました。その圧倒的な権力を象徴するのが、京都の北山に建てられた金閣です。この時期の文化は、貴族の優雅な文化と武士の質実剛健な文化、さらに禅宗の影響が混ざり合っており、その代表的な建築物が金閣です。外壁に金箔が貼られた華やかな外観は、当時の幕府の勢いを示しています。
問12	答え 3 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。	明との貿易は「勘合貿易」と呼ばれますが、これは「勘合」という紙の札を照合させたことに由来します。当時、正式な許可を得ずに活動する海賊（倭寇）との区別が困難であったため、半分に割った札の片方を明側、もう片方を日本側が持ち、入港時にそれを合わせることで正規の船であることを証明しました。
問13	答え 4 幕府の保護を受け、それまでの芸能を芸術性の高い能として完成させた。	能は、観阿弥・世阿弥が幕府（足利将軍家）のバックアップを受けることで、単なる見せ物から高い芸術性を持つ文化へと進化しました。「わび茶」や「書院造」は同じ室町時代の文化ですが、能とは異なる背景や特徴を持つものです。また、歌舞伎は江戸時代初期に流行したものであり、時代背景が異なります。
問14	答え 1 勘合（勘合符）	室町幕府の足利義満によって始められた日明貿易では、当時東アジアの海域で活動していた海賊である倭寇と、幕府が公認した正式な貿易船を区別する必要性がありました。そのため、明の皇帝から発行された証明札を半分に切り分け、日本側と明側で照合する仕組みが採用されました。この証明札を勘合（勘合符）と呼ぶことから、この貿易は勘合貿易ともいわれます。

- 問1 室町時代の出来事を記した年表において、1428年に発生した「正長の土一揆」は、日本で最初の組織的な土一揆として知られています。この一揆において近江国の運送業者である馬借が果たした役割や背景として、最も適切な説明はどれか選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- 馬借は惣と呼ばれる農民の組織から独立した存在であり、年貢の減免を求めて各地の守護大名と戦った。
 - 馬借は各地の情報を素早く伝達し、広い範囲の農民が団結して徳政を求めるときかけを作った。
 - 馬借は京都の自治を担う町衆と協力し、室町幕府の将軍を追放して新しい政府を樹立した。
 - 馬借は幕府から独占販売権を得ていた座の一員であり、特権を守るために農民を武力で鎮圧した。
- 問2 後醍醐天皇が始めた建武の新政において、多くの武士が不満を抱き、結果として足利尊氏らが離反する原因となった状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- 土地の所有権などを判定する際、武士よりも公家や寺社が優先され、十分な恩賞が得られなかったため。
 - 元（モンゴル）の襲来を防いだにもかかわらず、防衛にかかった費用への補償が一切なかったため。
 - 守護や地頭が廃止され、代わりに全国の土地が直接中国の王朝によって管理されることになったため。
 - キリスト教の布教を禁止したこと、南蛮貿易による利益が激減し、武士の生活が困窮したため。
- 問3 室町時代の流通や経済状況について、当時の統計資料では、特定の少数の勢力が市場の取引において独占的な地位を占めていたことが示されています。このような社会背景において、室町幕府や寺社が行った経済政策として正しいものを選んでください。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- 交通の要所に関所を築き、人々の移動や物資の輸送に対して通行料を課した。
 - 問屋が全国の市場を支配することを禁じ、すべての流通を武士が直接管理するようにした。
 - 貨幣の使用を禁じて米による物々交換を奨励し、寺社の特権をすべて剥奪した。
 - 座と呼ばれる団体を廃止し、誰でも自由に商売ができる楽市・楽座を全国で展開した。
- 問4 室町時代の文化において、雪舟が果たした役割やその作品の特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- 墨の色の濃淡やぼかしを使い分けることで、空間の奥行きや自然の精神性を表現した。
 - 金箔を多用した豪華絢爛な背景に、獅子や松などの力強い対象を濃い色彩で描いた。
 - 庶民の風俗や日常生活、役者の姿などを木版画によって大量に制作した。
 - 遠近法や陰影法などの西洋画法を取り入れ、現実の風景を写実的に描写した。
- 問5 慈照寺（銀閣）が建立された時期の日本の状況と、その場所が位置する現在の都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、時期については、足利尊氏が幕府を開いた1336年から、織田信長が将軍を追放した1573年までの間を基準とします。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- 鎌倉時代・神奈川県
 - 江戸時代・東京都
 - 室町時代・京都府
 - 安土桃山時代・大阪府
- 問6 15世紀、沖縄本島を中心に成立した琉球王国が、中国（明）や日本、朝鮮、東南アジアなどの国々の間を仲立ちし、それぞれの地域の産物を転売することで大きな利益を得た貿易の名称は何といいますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- 南蛮貿易
 - 中継貿易
 - 朱印船貿易
 - 勘合貿易
- 問7 室町幕府の仕組みを説明した資料において、将軍の補佐役である「管領」の職に就くことができた人物の説明として、最も適切なものを選んでください。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- 天皇を補佐する公家の中から、学問に優れた者が任命された。
 - 将軍の直接の家臣である旗本の中から、実力のある者が選ばれた。
 - 代々将軍家に仕えてきた北条氏の一族が独占的に世襲した。
 - 細川氏や斯波氏、畠山氏といった、有力な守護大名が交代で就任した。
- 問8 鎌倉時代から室町時代にかけての日本国内における貨幣の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 貨幣の代わりとして、各藩が発行した独自の紙幣である藩札が広く一般的に使われた。
 - 政府が和同開珎などの銅銭を国内で铸造し、全国的な流通を強く促した。
 - 中国の宋や明から貿易によって大量に輸入された銅銭が、主な通貨として流通した。
 - 江戸幕府によって铸造された慶長小判などの金貨が、全国の市場で中心的な役割を果たした。
- 問9 15世紀初め、沖縄本島に並立していた北山・中山・南山の三つの勢力を統一して琉球王国を建国した人物と、この国が東アジアの国々を結びつけて行った貿易の名称の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- 足利義満 — 中継貿易
 - 尚巴志 — 南蛮貿易
 - 足利義満 — 勘合貿易
 - 尚巴志 — 中継貿易
- 問10 室町幕府の統治機構は、先行する武家政権の仕組みを継承しながらも、地方統治を強化する特徴を持っていました。将軍の直下に置かれた役職と、東国の統治を担った組織の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- 管領と鎌倉府
 - 老中と京都所司代
 - 執権と六波羅探題
 - 大老と長崎奉行
- 問11 室町時代、農民たちは「惣村」と呼ばれる自治組織を作り、村の運営を自分たちで行うようになりました。14世紀初頭には屋敷地が点在していた村でも、15世紀後半になると屋敷を一箇所に集め、周囲に「濠（ほり）」をめぐらせる形態へと変化した事例が見られます。このような村が作られた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること
 - 城下町を建設し、周辺地域との商業取引を盛んにすること
 - 幕府が農民の移動を制限し、居住地を管理しやすくすること
 - 庄園領主による支配を強化し、年貢を確実に徴収すること
- 問12 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- 北虜南倭
 - 下剋上
 - 鎖国令
 - 文禄・慶長の役
- 問13 室町時代に日本と明の間で行われた貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」と呼ばれる合い札が使用された理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- キリスト教の布教を目的とした宣教師の入国を厳しく制限するため
 - 貿易によって得られた利益を幕府と明の政府で均等に分配するため
 - 東アジアの沿岸で活動していた海賊である倭寇による密貿易を防止するため
 - 輸入品である生糸の価格が国内で高騰するのを防ぐため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 馬借は各地の情報を素早く伝達し、広い範囲の農民が団結して徳政を求めるきっかけを作った。	1428年の正長の土一揆は、近江国の馬借が徳政（借金の帳消し）を求めて蜂起したことが始まりです。馬借は日常的に広い範囲を移動して物資を運んでいたため、各地の情報を素早く伝えるネットワークを持っていました。このネットワークが活用されたことで、近江から大和（奈良県）や京都へと一揆が波及し、室町幕府に対して徳政令の発布を迫る大規模な運動へと発展しました。
問2	答え 1 土地の所有権などを判定する際、武士よりも公家や寺社が優先され、十分な恩賞が得られなかったため。	建武の新政は天皇親政を目指すあまり、鎌倉幕府を倒すために戦った武士たちの功績を軽視し、公家を露骨に優遇する内容でした。特に、武士にとって最も重要な「土地の権利」を認める裁定が遅れたり、公家に有利に出されたりしたことが決定的な不満となり、再び武家政権を求める動きへとつながりました。
問3	答え 1 交通の要所に関所を築き、人々の移動や物資の輸送に対して通行料を課した。	室町時代は「座」と呼ばれる商工業者の団体が、寺社や公家などの権力者に奉仕する代わりに販売の独占権を得るなど、特権的な勢力が経済に強い影響力を持っていました。これと同じく、室町幕府や寺社もまた、自らの支配地や重要な街道に関所を設置して通行料を得ることで、流通から利益を吸収していました。織田信長が行った楽市・楽座はこの関所や座の特権を否定しようとしたものであり、室町時代の傾向とは対照的です。
問4	答え 1 墨の色の濃淡やぼかしを使い分けることで、空間の奥行きや自然の精神性を表現した。	雪舟は、墨一色という制約の中で、筆使いの強弱や墨の薄さをコントロールすることで、光や空気感までも表現する水墨画を完成させました。金箔を用いる手法は安土桃山時代の障壁画、木版画による庶民文化の描写は江戸時代の浮世絵の特徴であり、これらと区別する必要があります。
問5	答え 3 室町時代・京都府	慈照寺は、室町幕府の第8代将軍である足利義政が京都の東山に築いた山荘が寺となったものです。この時期は室町時代の中期から後期にあたります。義政は応仁の乱という戦乱のさなかにありながら、この地で東山文化を育みしました。
問6	答え 2 中継貿易	琉球王国は地理的な利点を活かし、東アジアと東南アジアを結ぶ交通の要所として機能しました。自国の産品を売るだけでなく、明から輸入した絹織物や陶磁器を日本や朝鮮、東南アジアへ運び、逆に東南アジアの香料や染料を明へ運ぶといった、品物を右から左へと流す商法で繁栄しました。
問7	答え 4 細川氏や斯波氏、畠山氏といった、有力な守護大名が交代で就任した。	管領は、足利氏の一族である細川・斯波・畠山の三家（三管領）が交代で務める仕組みとなっていました。これは、幕府が有力な守護大名の連合体としての性格を強く持っていたため、特定の家系だけでなく有力者の力をバランスよく取り入れる必要があったという背景があります。
問8	答え 3 中国の宋や明から貿易によって大量に輸入された銅銭が、主な通貨として流通した。	日本では10世紀後半から自国での貨幣鑄造が途絶えていましたが、中世に入り商業や貿易が活発化すると貨幣の需要が高まりました。そのため、日宋貿易や日明貿易を通じて中国から宋銭や明銭を輸入し、それらが国内で広く利用されるようになりました。
問9	答え 4 尚巴志 ― 中継貿易	琉球王国は1429年に尚巴志によって統一されました。地理的に日本、中国、東南アジアの間に位置していたため、それぞれの地域の特産品を仕入れて他国へ売る「中継（なかつぎ）貿易」によって繁栄しました。選択肢にある南蛮貿易は戦国時代にヨーロッパ諸国と行われた貿易であり、勘合貿易は足利義満が明との間で行った貿易です。
問10	答え 1 管領と鎌倉府	室町幕府の中央組織では将軍の下に「管領」が置かれ、侍所・政所・問注所といった鎌倉幕府以来の機構を統括しました。また、地方組織としては、関東10か国を統治するために「鎌倉府」を置いたことが大きな特徴です。執権と六波羅探題は鎌倉幕府の、老中や京都所司代、大老などは江戸幕府の組織です。
問11	答え 1 外敵や戦乱から村を守るため、自衛の機能を高めること	室町時代中期以降、応仁の乱などの戦乱が続く中で、農民たちは自衛のために結束を強めました。それまでバラバラだった屋敷地を集中させ、周囲に「濠」や土塁を築くことで、敵の侵入を防ぐ「環濠集落」が形成されました。これは惣村による自治の進展を示す象徴的な村の形態です。
問12	答え 1 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。
問13	答え 3 東アジアの沿岸で活動していた海賊である倭寇による密貿易を防止するため	当時、東アジアの海域では倭寇と呼ばれる海賊が活動し、非公式な略奪や貿易を行っていました。明はこれを取り締まり、正式な許可を与えた船のみと取引を行うために、二枚の札を合わせることで本物と確認する「勘合」の仕組みを導入しました。

- 問1 14世紀後半、明が民間人の海外渡航や私的な貿易を厳格に制限した「海禁」と呼ばれる政策をとった主な目的として、最も適切なものはどれか。
(2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄砲やキリスト教などの新技術が流入するのを防ぐため | 2. キリスト教の布教を制限して幕府の権威を守るため | 3. オランダや清以外の船舶の来航を完全に禁止するため | 4. 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|
- 問2 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|--------|
| 1. 問丸 | 2. 惣村 | 3. 座 | 4. 株仲間 |
|-------|-------|------|--------|
- 問3 足利義満が明との貿易を推進したことにより、当時の日本国内の経済に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれか。
(2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本から銀が大量に流出したこと
で、国内の物価が下落し、自給自足の
経済へ戻った。 | 2. 明から大量の銅銭や生糸が輸入さ
れたことで、国内の貨幣経済や産業
の発展が促された。 | 3. 綿花が大量に輸入されたことで、
日本国内で独自の綿織物産業が初め
て確立された。 | 4. 鉄砲やキリスト教が伝来したこと
で、戦国大名の戦い方や思想に大き
な変化が生じた。 |
|--|---|---|--|
- 問4 1428年に近江の農民から始まった正長の土一揆において、農民たちは奈良県の柳生街道にある岩に「正長元年よりさきは、借主はいない」という趣旨の内容を刻み、自らの要求が通ったことを示しました。このとき、農民たちが酒屋や土倉などの金融業者を襲撃して求めたものは何ですか。
(2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 兵役の免除 | 2. 借金の帳消し | 3. 年貢の減免 | 4. 土地の返還 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問5 「下剋上」の風潮によって、室町時代の地方政治において生じた変化として正しいものはどれですか。
(2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 守護代や国人が、実力で守護大名に代わって領国を支配する戦国大名が現れた。 | 2. 白河上皇が位を譲った後も政治を行うことで、摂関家から実権を取り戻した。 | 3. 北条氏が執権として幕府の実権を握り、独自の法律を定めて武士を統制した。 | 4. 幕府が御成敗式目を制定し、裁判の公平性を高めることで農民の不満を解消した。 |
|---|--|--|--|
- 問6 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる割符が使用されました。このような仕組みが導入された背景にある、当時の東アジア情勢として最も適切な説明はどれですか。
(2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. キリスト教の布教を防ぎながら、幕府が海外貿易の利益を独占しようとしたため | 2. 沿岸部で海賊行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため | 3. 平清盛が推進した日宋貿易の形式を継承し、大量の銅銭を効率よく輸入するため | 4. 朱印状を持つ商人にのみ渡航を許可し、東南アジア諸国との取引を管理するため |
|---|--|---|---|
- 問7 1467年に京都で始まり、約11年間にわたって続いた戦乱について、その発生の直接的な背景と、社会に与えた影響の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 徳川家康と石田三成の対立が背景となり、戦乱の後には幕府による大名への統制が厳しくなった。 | 2. 農村での一揆が全国に広がったことが背景となり、幕府が守護大名の力を借りて農民を支配する体制が強化された。 | 3. 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。 | 4. 海外との貿易利権をめぐる対立が背景となり、将軍の権威が高まって守護大名の力が弱まった。 |
|---|---|---|--|
- 問8 室町幕府の第八代将軍であり、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立したことで知られ、簡素で落ち着いた文化を育んだ人物は誰ですか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 足利尊氏 | 3. 足利義満 | 4. 足利義持 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 日本の美術作品の特徴を説明した次の記述のうち、室町時代に雪舟によって確立された「水墨画」の表現に該当するものはどれですか。
(2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の町人の風俗や役者の姿を、鮮やかな多色刷りの版画として描いている。 | 2. 貴族の生活の様子を、寝殿造の建物を舞台に華やかな色彩を用いて描いている。 | 3. 険しい山岳や力強い筆致の木々を、墨一色の濃淡によって静寂の中に表現している。 | 4. 城郭の内部を飾るため、金箔を背景に色彩豊かで豪華な障壁画として描いている。 |
|--|---|---|--|
- 問10 室町時代の社会構造の変化において見られた「惣（惣村）」の活動内容として、最も適切な説明はどれですか。
(2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 公地公民の原則に基づき、政府から農民へ一定の土地が貸し出され、死後は国に返還された。 | 2. 商工業者が寺社や公家に税を納める代わりに、商品の独占販売権などの特権を得て活動した。 | 3. 農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、用水の管理や裁判、警察的な役割を自ら担った。 | 4. 幕府や大名が年貢を換金する拠点として、大坂などの都市に倉庫を備えた邸宅を運営した。 |
|---|---|---|--|
- 問11 鎌倉幕府を倒した後に始まった「建武の新政」が崩壊し、足利尊氏と対立したことで京都を離れ、奈良県の吉野において自らの正統性を主張する朝廷を開いた人物は誰か、次の中から選びなさい。
(2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 後醍醐天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 足利義満 | 4. 後鳥羽上皇 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問12 日本の歴史における主要な3つの変革である、「蘇氏を打倒して中央集権的な政治を目指した大化の改新」、「天皇家や藤原氏の権力争いに武士が介入するきっかけとなった保元の乱」、「鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が公家を重視して行った建武の新政」について、これらが発生した順序として正しいものはどれですか。
(2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 保元の乱 → 大化の改新 → 建武の新政 | 2. 大化の改新 → 保元の乱 → 建武の新政 | 3. 大化の改新 → 建武の新政 → 保元の乱 | 4. 建武の新政 → 保元の乱 → 大化の改新 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問13 室町時代に農村で形成された自治組織である「惣」の活動内容や当時の社会背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朝廷や幕府の公認を得て、特権的な販売独占権を持つ商工業者の集団として、市場での自由な取引を制限した。 | 2. 領主が支配を強めるために有力な農民を村役人に任命し、年貢の取り立てや裁判のすべてを幕府の代わりに行わせた。 | 3. 江戸幕府の命令により、キリスト教の禁止や年貢の納入を徹底させるため、近隣の数軒を一つの単位として連帯責任を負わせた。 | 4. 農業生産力の向上を背景に、農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、水利の管理や入会地の共同利用を自主的に行った。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため	明は建国当初、国内の秩序を安定させる必要がありました。当時、東シナ海などの沿岸部では倭寇（日本人を含む海賊集団）が活発に活動しており、これを取り締まるとともに、民間人が勝手に海外勢力と結びつくのを防ぐために海外渡航や私的な貿易を禁止しました。これを海禁と呼びます。
問2	答え 2 惣村	室町時代になると、農民が団結して自立的に運営を行う「惣村」が形成されました。惣村では、村の神社などで「寄合」と呼ばれる会議を開き、入会地の管理や用水の配分、年貢の納入交渉などを共同で行いました。こうした自治の広がりには、当時の農民が社会的地位を高めていたことを示しています。
問3	答え 2 明から大量の銅銭や生糸が輸入されたことで、国内の貨幣経済や産業の発展が促された。	日明貿易では、日本からは刀剣や硫黄などが輸出され、明からは銅銭（永樂通宝など）や生糸、書画などが輸入されました。特に大量の銅銭が流入したことは、それまで未発達だった日本の貨幣経済を大きく前進させ、市場の活性化につながりました。
問4	答え 2 借金の帳消し	室町時代の正長の土一揆では、凶作や流行病で苦しむ農民たちが、將軍の代わり目などをきっかけに「徳政（とくせい）」を求めて蜂起しました。農民たちは、質に入れた品物を取り戻したり、借金をゼロにしたりすることを目的に、金融業者である酒屋や土倉を襲撃しました。柳生の徳政碑文は、この一揆の結果として借金が無効になったことを今に伝える重要な史料です。
問5	答え 1 守護代や国人が、実力で守護大名に代わって領国を支配する戦国大名が現れた。	下剋上の風潮が強まると、それまで守護大名を補佐していた「守護代」や、地方の有力武士である「国人」たちが、自らの実力で主君を倒して領地を支配するようになりました。これによって誕生した勢力は戦国大名と呼ばれ、各地で独自の分国法を制定するなどして支配を強めました。
問6	答え 2 沿岸部で海賊行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため	室町時代の初期、朝鮮半島や中国沿岸では「倭寇」と呼ばれる海賊集団が活動し、略奪行為を行っていました。明の皇帝は日本に対して倭寇の取り締まりを強く要求しました。これに応じた足利義満は、明との正式な貿易を行う際、中央に文字を書いて二分割した「勘合」という証明書を持参させ、明側の所持するものと照合させることで、正式な使節と海賊を厳別する仕組みを整えました。
問7	答え 3 將軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。	室町時代の中期、8代將軍足利義政の後継者をめぐる争いに、細川勝元と山名宗全という二大守護大名の勢力争いが結びついたことで応仁の乱が勃発しました。この戦乱により幕府の権威は失墜し、中央の統制が及ばなくなったことで、身分が下の者が実力で上の者を倒して領地を広げる「下剋上」の風潮が全国的に広まりました。これが、のちの戦国時代へとつながる大きな転換点となりました。
問8	答え 1 足利義政	彼は政治の実権からは距離を置くようになりましたが、銀閣を拠点に茶の湯や生け花、書院造といった後の日本文化の源流となる東山文化を大成させました。武家の力強さと禅宗の精神性が融合した、わび・さびを基調とする文化の保護者として歴史に名を残しています。
問9	答え 3 険しい山岳や力強い筆致の木々を、墨一色の濃淡によって静寂の中に表現している。	雪舟の水墨画は、中国の技法に基づきながらも、力強い線や構図によって日本の風景や精神性を表現しているのが特徴です。他の選択肢にある、華やかな色使いの絵巻物は平安時代の貴族文化、多色刷りの版画は江戸時代の浮世絵、金箔を用いた豪華な障壁画は桃山時代の文化の特徴です。
問10	答え 3 農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、用水の管理や裁判、警察的な役割を自ら担った。	惣の最大の特徴は「自治」にあります。14世紀から15世紀にかけて、農民たちは団結して村の運営を自分たちの手で行うようになりました。これには共有地の管理や水争いの調停だけでなく、村の治安維持も含まれます。こうした強力な団結力が、後に領主に対して年貢の減免などを求める「土一揆」の基盤となりました。他の選択肢は、座、蔵屋敷、口分田に関する説明です。
問11	答え 1 後醍醐天皇	鎌倉幕府滅亡後、天皇中心の政治を取り戻そうとして「建武の新政」を行ったが、武士の不満を招いたことで足利尊氏に反旗を翻された。尊氏が京都に別の天皇（北朝）を立てると、後醍醐天皇は三種の神器を持って吉野へ逃れ、自らの朝廷（南朝）の正統性を主張した。
問12	答え 2 大化の改新 → 保元の乱 → 建武の新政	大化の改新は7世紀（645年）に中大兄皇子らが蘇我氏を倒して始めた政治改革です。保元の乱は12世紀（1156年）に天皇領や摂関家内の対立を背景に起こり、武士の政治的影響力が高まる契機となりました。建武の新政は14世紀（1333年）に後醍醐天皇が鎌倉幕府を倒した後に始めた、公家中心の政治体制です。これらは古代、中世の画期となる出来事です。
問13	答え 4 農業生産力の向上を背景に、農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、水利の管理や入会地の共同利用を自主的に行った。	室町時代の農村では、灌漑施設の管理や山野（入会地）の利用、さらには村の防衛などを自分たちで行う必要が生じました。これらを運営するために結成されたのが惣です。惣の団結力が強まると、領主に対して年貢の減免を要求したり、借金の帳消しを求める「土一揆」へと発展することもありました。

- 問1 室町時代の有力な農民たちが中心となって形成した「惣」と呼ばれる村の自治組織について、その活動内容や目的として正しい説明はどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都市に住む有力な商人が、幕府から特定の商品の独占販売権を得るために組織した利益団体であった。 | 2. 室町幕府から派遣された武士の指揮の下で、農作業の計画や年貢の取り立てを厳格に行うための補助組織であった。 | 3. 仏教の特定の宗派を信仰する人々だけが集まり、宗教行事を行うために作られた村外の組織であった。 | 4. 水路の管理や村の掟の制定を自ら行い、時には領主に対して年貢の減免などを求めて団結して交渉した。 |
|---|---|---|--|
- 問2 室町時代、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納めることで結成した同業者組織を何といいますか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|------|------|
| 1. 株仲間 | 2. 問丸 | 3. 座 | 4. 惣 |
|--------|-------|------|------|
- 問3 古くから大陸との玄関口であった九州北部のこの都市は、室町時代には明との貿易で大きな利益を上げ、堺と並んで富裕な商人たちが合議によって市政を運営する自治都市として栄えた。この都市の名称はどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 博多 | 2. 那覇 | 3. 坊津 | 4. 堺 |
|-------|-------|-------|------|
- 問4 室町時代の歴史を記した年表において、応仁の乱などの戦乱が続く社会情勢の中で、近畿地方などの農村で農民たちが自衛や灌漑（かんがい）施設の管理を行うために結成した自治組織を何と呼びますか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| 1. 株仲間 | 2. 座 | 3. 五人組 | 4. 惣 |
|--------|------|--------|------|
- 問5 後醍醐天皇が行った「建武の新政」が、わずか数年で失敗に終わり、足利尊氏による室町幕府の成立へとつながった背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 全国に守護・地頭を設置する政策が、地方の豪族から反発を受けたため。 | 2. キリスト教の布教を認めたことで、仏教勢力との激しい対立が起きたため。 | 3. 公家を重視する政策をとったことで、生活を脅かされた多くの武士の不満を招いたため。 | 4. 遣唐使を廃止して国風文化を推進したことが、大陸との貿易を望む商人の反対に遭ったため。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
- 問6 室町時代の文化は、足利將軍家の保護を受けただけでなく、次第に民衆の間にも広まりを見せました。この時代に成立した「御伽草子」に共通する特徴として最も適切な説明を、次のうちから選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。 | 2. 武士の合戦の様子を琵琶の伴奏に合わせて語り継ぐために作成された。 | 3. 遣唐使の廃止に伴って成立し、日本独自の四季や生活を優雅に表現した。 | 4. 浮世絵をふんだんに取り入れ、町人の華やかな生活や恋愛を風刺的に描いた。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問7 山城国一揆において、地域の武士や農民が守護大名を追放した後に成立した「自治」の仕組みや目的について述べた文として、背景を含めて正しく説明しているものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。 | 2. キリスト教の信仰を軸として領土の圧政に抵抗し、信者同士の平等な共同体を築くことを目的とした。 | 3. 海外との貿易権を独占するために有力な商人たちが都市を形成し、堺のような自由都市の運営を目指した。 | 4. 幕府の命令に従わない守護大名を処罰するため、將軍の許可を得て一時的に地域の統治権を代行した。 |
|--|---|---|---|
- 問8 14世紀末から15世紀前半にかけて、日本と明との間で国交が樹立され貿易が始まった時期の対外関係の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朱印状を持った貿易船の増加に伴い、沿岸部での海賊行為がより激しくなった。 | 2. 南蛮貿易の開始によって海賊の取り締まりが不要になり、倭寇の活動が沈静化した。 | 3. 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。 | 4. 明との貿易が全面的に禁止されたため、私的な密貿易を行う倭寇の活動が増した。 |
|---|---|--|--|
- 問9 琉球王国が行った貿易の歴史的な状況について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。当時のアジアにおける各国の交流状況をふまえて選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 明への貿易頻度が日本よりも高いことを利用し、東南アジアの香料などを明に送り、明の生糸などを日本に届ける役割を果たした。 | 2. 日本国内の戦乱によって途絶えた明との貿易を完全に代行するため、日本産の銀のみを中国に輸出する独占的な立場を築いた。 | 3. 明からの自立を宣言するために朝貢貿易を拒否し、東南アジアの国々とだけ独自の自由貿易圏を形成した。 | 4. 江戸幕府の鎖国政策が始まったことで、それまで行っていた東南アジア諸国との貿易をすべて停止し、明との貿易に専念した。 |
|--|--|---|--|
- 問10 室町時代に足利義満が本格化させた日明貿易（勘合貿易）において、日本が明から大量に輸入し、当時の国内で通貨として広く流通した品物として正しいものを、次の中から選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 硫黄 | 2. 刀剣 | 3. 銅銭 | 4. 生糸 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問11 室町時代に足利義満が中国（明）との間で開始した貿易において、当時の海賊である倭寇と、幕府が認めた正式な貿易船を区別するために導入された仕組みについて、正しい説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 「勘合」と呼ばれる、二枚に分かれた札を照らし合わせることで、正式な船であることを証明した。 | 2. 「朱印状」と呼ばれる、將軍の赤い印が押された渡航許可証を船に携帯させた。 | 3. 「御朱印船」を派遣し、東南アジア諸国の港を経由することで安全を確保した。 | 4. 「慶長小判」などの貨幣を支払うことで、明の役人から通行の許可を得た。 |
|--|---|---|---------------------------------------|
- 問12 室町時代に土一揆が頻発するようになった社会的な背景について、当時の組織の在り方に触れた説明として正しいものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. キリスト教の信仰のもとに農民が団結し、領主による宗教的な弾圧に抵抗したため | 2. 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため | 3. 座と呼ばれる商人の組合が農民と協力し、特定の商品の独占販売権を幕府に認めさせたため | 4. 守護大名が領地を広げるために、農民を兵士として組織して幕府を倒そうとしたため |
|--|---|--|---|
- 問13 室町時代の農村では、有力な農民を中心とした自治組織がつくられ、水利の管理や村独自の掟の作成、年貢の納入などを共同で行いました。また、この時期には馬を用いて荷物を運ぶ陸上輸送の業者も活躍しました。これら自治組織の名称と、陸上輸送を担った業者の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた | 2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた | 3. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた | 4. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 水路の管理や村の掟の制定を自ら行い、時には領主に対して年貢の減免などを求めて団結して交渉した。	惣（惣村）は、農民たちが自分たちの生活を守るために自発的に作った自治組織です。共通の資源である入会地（山林など）の管理や農業用水の分配を行うだけでなく、村の平和を維持するための「村掟」を定め、違反者を自分たちで処罰することもありました。また、領主による過酷な支配に対しては、村全体で年貢の軽減を求める強訴や、団結して戦う一揆（土一揆）を起こすなど、強い政治的交渉力を持っていました。
問2	答え 3 座	室町時代に発達したこの組織は、公家や寺社に税（貢加金など）を納める見返りとして、商品の独占的な販売権や、関所の通行税免除といった特権を認められていました。江戸時代に幕府の公認を得て活動した「株仲間」や、鎌倉時代から室町時代にかけて運送業を営んだ「問丸」との違いを理解しておくことが重要です。
問3	答え 1 博多	九州北部に位置し、中世において堺（現在の大阪府）と並ぶ代表的な自治都市として栄えたのは博多である。博多の商人は年行司と呼ばれ、都市の運営を主導した。堺も同様に会合衆による自治が行われたが、設問の「九州北部」という条件に当てはまらない。坊津（鹿児島県）も遣明船の寄港地であったが、都市の規模や自治の面で博多や堺と並び称される文脈では博多が適切である。
問4	答え 4 惣	室町時代の近畿地方などでは、農民が「寄り合い」を開いて村の掟（おきて）を定め、共同で村を運営する「惣」と呼ばれる組織が作られました。背景には、二毛作の普及や牛馬の利用、さらには備中ぐわなどの農具の改良による農業生産力の向上があり、農民が自立的な力を蓄えたことが挙げられます。
問5	答え 3 公家を重視する政策をとったことで、生活を脅かされた多くの武士の不満を招いたため。	後醍醐天皇は理想とする天皇親政を目指しましたが、土地の権利の承認や恩賞の配分において公家を優先し、武士の慣習を無視した過激な改革を行いました。これに失望した武士たちが、武家政治の再興を掲げた足利尊氏のもとに集まったことが、新政崩壊の決定的な要因となりました。
問6	答え 1 身近な庶民を主人公とし、挿絵が添えられた物語として広く親しまれた。	室町時代は、下剋上の風潮の中で実力をつけた庶民が文化の担い手となっていく過程にあります。御伽草子は、それまでの貴族中心の文学とは異なり、一寸法師や浦島太郎といった庶民にも馴染みのある登場人物を扱い、視覚的に分かりやすい「絵入り」であったため、階層を問わず広く普及しました。選択肢にある「合戦の様子」は軍記物語、「町人の生活」は江戸時代の文化、「日本独自の優雅な表現」は平安時代の国風文化の説明です。
問7	答え 1 戦乱によって荒廃した地域を立て直すため、身分を超えて団結し、集会を通じて裁判や徴税を自ら運営した。	山城国一揆の最大の特徴は、守護大名という外部勢力の介入を拒絶し、地域の武士や農民が自らの手で平和と秩序を維持しようとした点にあります。彼らは「三十六人衆」と呼ばれる代表者を選び、自分たちで掟（法）を定め、裁判や税の管理を行うなど、国家の機能を地域住民が代替する「自治」を行いました。これは室町時代後半の自立的な社会構造の変化を示しています。
問8	答え 3 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。	明は国交樹立の条件として海賊である倭寇の排除を要求しました。室町幕府がこれに応じて取り締まりを行ったため、14世紀末から15世紀前半にかけて倭寇の活動回数は大きく減少しました。
問9	答え 1 明への貿易頻度が日本よりも高いことを利用し、東南アジアの香料などを明に送り、明の生糸などを日本に届ける役割を果たした。	琉球王国は明との「進貢貿易」において、日本などの他国に比べて非常に有利な条件を与えられていました。これを利用して、自国の産品だけでなく、東南アジア諸国の象牙や香料、日本の刀剣や扇などを集約し、明の高度な産品（生糸・陶磁器）と交換して各地へ流通させました。これが琉球王国の黄金時代を支える基盤となりました。
問10	答え 3 銅銭	室町時代の日本では、国内で独自の貨幣を鑄造していなかったため、経済の活性化に伴い不足した通貨を補う必要がありました。そこで、日明貿易を通じて明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入し、これを国内の流通貨幣として利用しました。なお、硫黄や刀剣は日本からの主な輸出項目です。
問11	答え 1 「勘合」と呼ばれる、二枚に分かれた札を照らし合わせることで、正式な船であることを証明した。	室町時代、足利義満は明との国交を樹立し、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らしていた倭寇（海賊）が大きな問題となっており、明は日本に対してこれを取り締まるよう強く要求しました。これに応じる形で、幕府は正式な貿易船であることを証明するために、割印のある「勘合（勘合符）」を持参させる仕組みを整えました。これにより、海賊船と公的な船を厳格に区別し、安全で確実な貿易を行うことが可能になりました。選択肢にある朱印状や御朱印船は、江戸時代初期の制度であるため混同に注意が必要です。
問12	答え 2 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため	鎌倉時代から室町時代にかけて、農民は村ごとの自治組織である「惣」を形成しました。寄合を開いて村のルールを決めたり、用水の管理を行ったりすることで団結力が強まり、その組織力を背景に、領主への年貢の減免や幕府への徳政令の要求といった集団交渉（土一揆）が可能になりました。キリスト教による団結は後の島原・天草一揆などの特徴です。
問13	答え 4 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた	室町時代には農村の自衛や管理のために「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が発達しました。惣では寄合を開いて村の掟を定め、水利管理や年貢の未納分を村全体で責任を持つなど、強い連帯感を持って運営されました。一方、交通や商業の発展に伴い、馬を利用して物資を運ぶ「馬借」や、牛を利用する「車借」といった運送業者が活動を広げました。「問（問丸）」は主に港湾などで物資の保管や輸送の仲介、卸売りを担った業者を指します。